

咽頭結膜熱

咽頭結膜熱(プール熱)が流行っています

1. 咽頭結膜熱(プール熱)はどんな病気ですか？

アデノウイルスによる感染症です。

流行時期は夏で、プールでの感染があることから「プール熱」とも呼ばれます。

2. 今年の9月頃からの流行の理由は？

- ①新型コロナウイルスの感染対策が強化され、2020年から昨年まで、ほとんど流行が見られなかったため、抗体を保持している人が少なかったこと。
- ②新型コロナが5類感染症となり、行動範囲が広がったことが考えられます。

3. どのように感染しますか？

潜伏期間は5～7日です。飛沫感染(せきやくしゃみなど)や接触感染(ウイルスのついた手や鼻をさわるなど)でひろがります。

4. どのような症状ですか？

発熱、咽頭炎(のどの痛み・発赤)、結膜炎(目の充血・めやに)が3主症状です。

5. 治療法は？

特別な治療はなく、対症療法(症状をやわらげる治療)をおこないます。十分な休養と水分補給が重要です。

6. 予防法は？

手洗い、うがい、こどもが触れるおもちゃやドアノブなどの消毒が有効です。プールの際は、プールの前後のシャワーと、プールの後のうがいなどを徹底しましょう。タオルは個別に使いましょう。

7. 登園登校の目安は？

感染がわかった場合は「出席停止」になります。発熱や眼球結膜の充血、のどの痛みなどの主要症状が無くなってから2日間経過すると、登園、登校は可能です。

38度～40度程の熱

4、5日続く

目の充血
目やに

のどの腫れ
のどの痛み

予 防

- ・流水での石鹸手洗い
- ・口の中の洗浄とうがい
- ・タオルや食器等は共有しない

